

令和6年度香川県動物愛護推進懇談会 要旨

日時：令和7年3月12日（水）10:00～12:00

場所：香川県社会福祉総合センター7階 第一中議室

1 あいさつ

（香川県健康福祉部生活衛生課 高重課長）

本県では、「香川県動物愛護管理推進計画」を策定し、様々な施策に取り組んでいる。さぬき動物愛護センター「しっぽの森」を中心に適正飼養の普及啓発や犬猫の適正な譲渡の推進に取り組むとともに、保健所では、地域で取り組む野犬、野良猫対策を推進し、殺処分の減少に努めている。昨年3月には、しっぽの森が開所5周年を迎え、開所以降、のべ7000頭以上犬猫を譲渡し、殺処分数は全国的に多いものの大幅に減少しているところ。引き続き、さまざまな立場の方々と、一層の連携を図り、犬猫の殺処分数の減少と人と動物との調和のとれた共生社会の実現に取り組んでいきたい。委員の皆様方には忌憚のないご意見をお願いしたい。

（香川県動物愛護推進懇談会 中山会長）

本懇談会は、「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき、香川県と高松市の動物愛護管理推進に関する施策や動物愛護推進員の委嘱に関する推薦等の必要な協議を行うために設置されたもの。本日は香川県動物愛護管理推進計画に基づく今年度の実績報告や来年度の計画等をご協議いただく予定。今後を見据えた具体的な議論ができればと考えているので、ご協力をお願いしたい。

2 議題

（1）香川県動物愛護管理推進計画令和6年度実施状況について

事務局からの説明

資料1：香川県動物愛護管理推進計画令和6年度実施状況

委員からの質問・意見

●中山会長

災害対策に関して、県の災害対策指針については、昨年度の懇談会で説明があったと思うが、高松市の策定したガイドライン等については、どのようなものか、説明いただきたい。

◇高松市

高松市では、令和7年1月に「高松市ペット災害対策に関する行動ガイドライン」（資料2）を策定した。国のガイドラインや県の指針に基づいているが、より具体的に高松市民に対応した内容となっている。市民の対応だけでなく、市の役割についても記載している。また、あわせて「ペット同行避難所運営マニュアル作成の手引き」も策定した。避難所として何を準備しなければならないか、どう対応すべきかなどを記載している。

●中山会長

昨日、東日本大震災から14年を迎え、昨年には能登半島でも大きな地震があった。また、先日は岩手県で大規模な山林火災があったところである。様々な災害が起こり得る中で、様々な対策が必要となってくる。是非備えていただきたい。

(2) 香川県動物愛護管理推進計画令和7年度実施計画について

事務局からの説明

資料3：香川県動物愛護管理推進計画令和7年度実施計画

委員からの質問・意見

●大林委員

ペット同行避難の受入れについて伺いたい。県内の避難所でペットと同行避難受入れ可能な一覧等はあるか？

◇事務局

毎年市町に避難所の運営について調査しているが、現状、県としてとりまとめて公開できるものはない。市町によっては、ホームページ等で掲載しているかもしれないので、確認してもらいたい。

●中山会長

令和7年度では飼い主のいない猫対策の事業が新規拡充されるとのことだが、具体的な内容をもう少し詳しく教えていただきたい。

◇事務局

具体的には、飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用について、市町が1匹当たり1万円以上の補助を行う場合、その半額に相当する5千円を上限とし助成する予定。

飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の補助については、既に9市町が制度化しているが、今回の新たな補助制度により、TNR活動が県内で広がり、より多くの野良猫に不妊去勢手術ができるようになり、猫の収容数や殺処分数のさらなる減少につながるものと期待している。

●中山会長

市町では飼い主のいない猫の不妊去勢手術の助成費用にクラウドファンディングを利用することがあると聞いているが、その場合の県の補助はどうなるか？

◇事務局

クラウドファンディングのような寄付金等を財源とする場合には、県からの補助はできない予定。

●寺山委員

殺処分は年々減少傾向にあり、県をはじめとした行政の努力のたまものである。動物愛護管理に関しては、啓蒙活動が重要になってくると考えている。ペットショップでは、販売する犬猫についてマイクロチップの装着が義務づけられたが、香川県内での犬猫のマイクロチップの装着率はどれくらいか？

◇事務局

県内でのマイクロチップの装着率に関するデータは把握していない。

(3) 動物愛護推進員候補者の推薦について

事務局及び高松市から動物愛護推進員候補者について説明があり、委員による審議の結果、懇談会から県知事及び高松市長に推薦することとなった。

以 上